

研修名 対人援助研修

平成27年11月5日(木) 10:00~16:00

講演 「保護者と円滑なコミュニケーションをとるために」

講師 小山 英樹 氏



1 講演要旨

子どもの思いを叩き潰すのは大人です。

- ・壇上の賢者から寄り添う案内人へ
- ・アクティブラーニング…一方的な授業ではなく一緒に学ぶ
- ① 自分の考えは固定されている。先入観から人を見ないこと
- ② 決めつけて話すのではなくお互いに心を開いて対応すること
- ③ ちゃんと見る＝人を認める・あるがまま見ること

1) セブンじゃんけん(実践)

- ・ゲームのルール・・・2人組になり、1本指から5本指の中で好きな本数の指をだす。
合計が7になったところで早く相手の手を叩いた方が勝ち。

- ① 2人でタイミングを合わせることで仲良くなれる(同じ動作)
- ② 感情を爽やかに出せている(嬉しいことや感情をだして話す)
- ③ ボディータッチ(ボディータッチを入れることで距離が近くなる)
- ④ 無防備に手のひらを差し出す(手を隠す＝相手との距離が遠くなる)

2) お絵かきゲーム(実践)

- ・2人組になり絵や文字を見て相手に伝える。相手はその説明を聞き絵や文字にしていく。
- ① 人は物事の捉え方が違う
- ② どう伝えればいいのか考える
- ③ 自分が相手に対して何ができたのだろうか

3) これからの教育

「キツネとタヌキの物語」の映像を見て、被者と執者について討論する。

- ・教育再生が目指す成果
- ① 主体的・リーダーシップ
- ② 創造力
- ③ イノベーションの力
- ④ 豊かな感性
- ⑤ コミュニケーション力
- ・人の役に立ちたい、人や社会の幸福に貢献する人でありたいという志

B e l i e f (信じ込み・思い込み)

- ・人は目で見える世界に住んでいるものではない。目で見える世界をどう受け取っているか、その受け取り方の世界に住んでいる。どう受け取ったかが、そのものの価値を決め、そのものとの関係性を決める。B e l i e f が人生を決める。

4) 教育コーチングの基本技術

傾聴の効果傾聴とは・・・聴す（ゆるす）

- ・ 集中する（一緒にいる）
 - ・ 判断を脇に置く（良い悪い）
 - ・ 沈黙を大切にする
 - ・ 安全な位置・ペーシング・オウム返し・気づいたよ信号が大切。
- 傾聴の三要素



詰問せず、質問をする

- ・ 「なぜ？」…あなたを理解できない。おかしい。私が納得するように説明してみなさい。
- ・ 「何？」…あなたはOK。あなたに関する物事について教えてほしい。
- ・ 「なぜできないのですか？」（詰問）→「やるために必要なのは何でしょう？」（質問）

存在を承認する

- ・ Y o u のほめ…主語が「あなたは」判断・評価・解釈などを伝える言葉。
- ・ I のほめ…主語が「わたしは」・・・自分の感情をそのまま言葉にする。
- ・ 教育コーチングとは…「傾聴」「質問」「承認」などの技法を用いて相手の意欲や能力を引き出し、自立を支援するメソッド。

5) 傾聴力をアップするおすすめワーク（ロールプレイング）

・ 聴いてもらえない体験 （2名）

- ① 2人1組になり、話し手（クライアント）と聴き手（コーチ）を決める
- ② クライアントにテーマを与える
- ③ コーチに4つの指示を与える。（腕組をする・笑わない・うなずかない・しゃべらない）
- ④ クライアントに自由に話してもらう
- ⑤ 1分間で話を打ち切り、クライアントに起こった感情の変化を分かち合う
- ⑥ 役割を入れ替わる

・ 自己話をする（3名）

- ① 3人1組になり、コーチ・クライアント・観察者を決める
- ② クライアントにテーマを与える
- ③ コーチに指示を与える（自己話をキャッチしたら、意識をクライアントに向けなおす）
- ④ クライアントに自由に話してもらう
- ⑤ 2分で話を打ち切る 観察者、クライアントの順で、コーチの聴き方について感じたことを率直に発表しあう（コーチは黙って聴く）
- ⑥ コーチは2分間何を考えながら聴いていたかを他の2人に伝える
- ⑦ 役割を交代する

2 所感

保育士の仕事は子どもの保育がメインではあるが、保護者への対応は最も大切な業務であると思います。近年、保育現場では保護者対応が難しくなっていると言われています。保護者の方とコミュニケーションをとる際には、その人自身や家庭環境など価値観を大切にし、価値観に基づいて子育てをしているということを理解することが重要だと感じました。保育者の押しつけではなく一緒にその子にとって良い環境を整えていき、保護者の声をしっかり傾聴できる保育者になっていきたいと思います。日々勉強だと思い積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。

（記録 伊根町立本庄保育所 奥野 まき）